

福井県管理河川嶺北ブロック 減災対策協議会の設立について

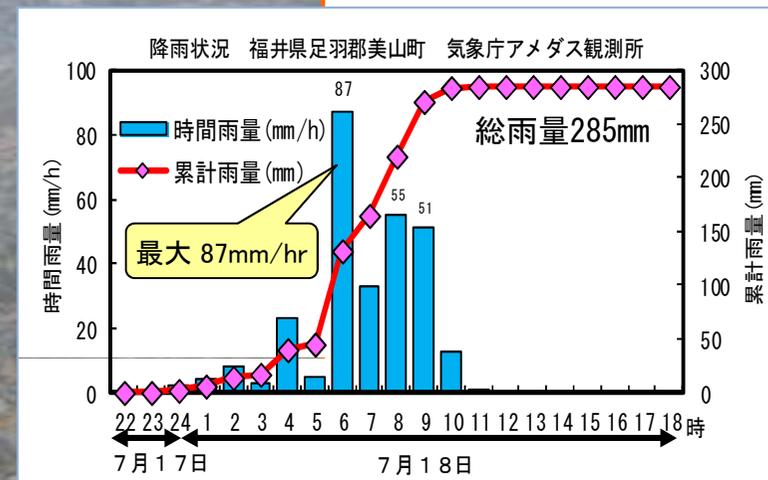
- 過去の主な洪水被害
- 水防災意識再構築ビジョンに基づく取組について
- 協議会の設立趣旨

平成16年7月福井豪雨における被害状況

- ・梅雨前線の活発化による局地的豪雨
- ・最大時間雨量87mm/hr、総雨量285mm(美山)
- ・足羽川上流域を中心に県北東部で甚大な被害



平成16年7月福井豪雨浸水状況
(福井市街地上空より足羽川左岸を撮影)



破堤地点(福井市春日)の状況

【主な被害】

- 人的被害 : 死亡4名、行方不明1名、負傷19名
- 住宅被害 : 全壊57棟、半壊142棟、一部損壊212棟、床上浸水3,323棟、床下浸水10,334棟

平成16年7月福井豪雨における被害状況



①足羽川JR橋流出(福井市(旧美山町))



②足羽川旧美山町役場水没(福井市(旧美山町))



③足羽川越水(池田町谷口)



④赤根川越水(大野市中野)

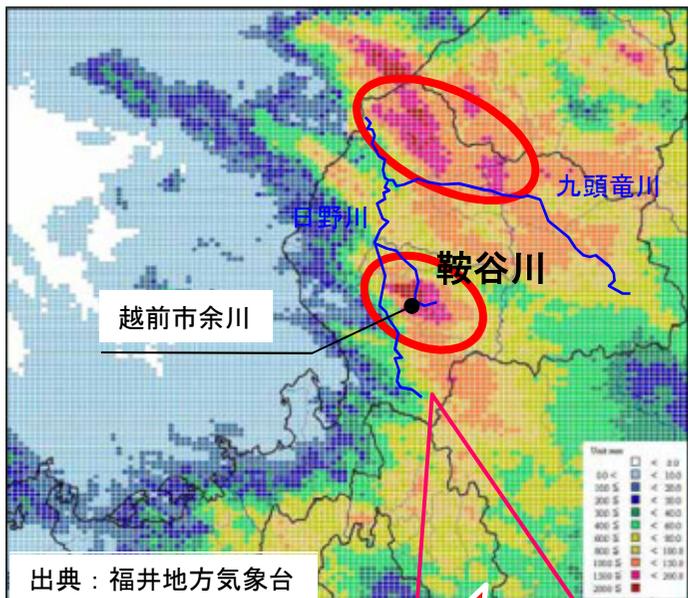


⑤鞍谷川越水(越前市(旧今立町))



⑥鞍谷川越水(鯖江市川島町)

平成24年7月 越前市東部集中豪雨における被害状況



越前市東部で
局地的に96mm/hr
に達する猛烈な雨
(平成24年7月20日)



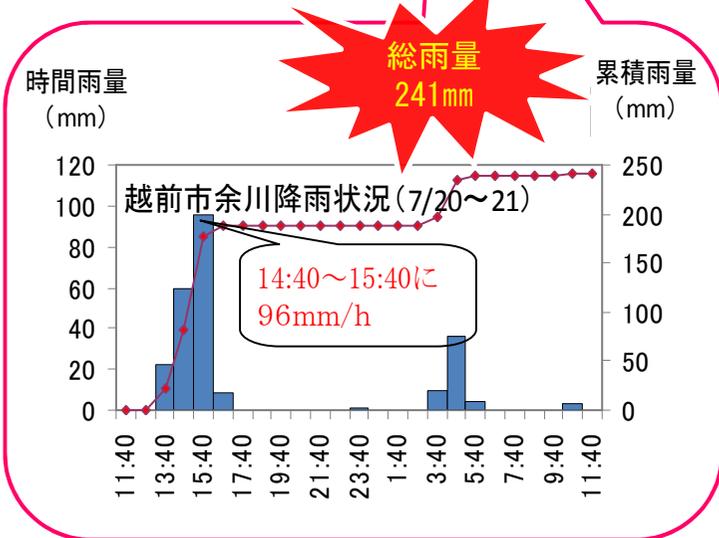
【岡本川】（鞍谷川の上流）



【鞍谷川沿いの浸水状況】



【鞍谷川の越水状況】



平成27年9月 関東・東北豪雨における鬼怒川の被害状況

- 宅地及び公共施設等の浸水が概ね解消するまでに10日を要した。
- 避難の遅れ等により、多くの住民が孤立し、約4,300人が救助された。

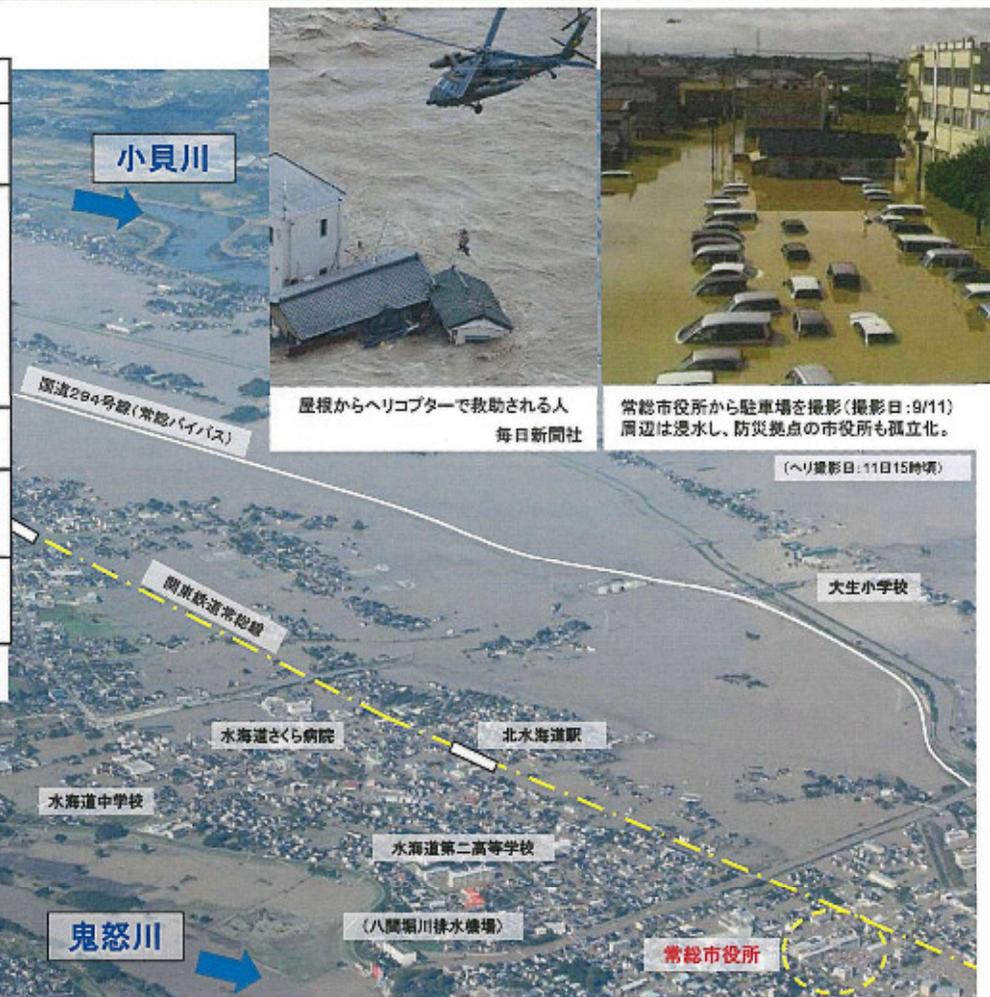
鬼怒川下流域における一般被害の状況

項目	状況等
人的被害	常総市 (死亡2名、重症3名、中等症21名、軽症20名) (10月30日16時現在)
住家被害	常総市 (全壊53、大規模半壊1,575、半壊3,475、床上浸水148、床下浸水3,072) 結城市 (大規模半壊6、半壊44、床上浸水1、床下浸水155) 筑西市 (大規模半壊68、半壊3、床下浸水18) 下妻市 (全壊1、半壊39、床上浸水16、床下浸水110) つくばみらい市 (半壊13、床上浸水1、床下浸水21)
救助者	ヘリによる救助者数 1,339人 地上部隊による救助者数 2,919人
避難指示等	①避難指示 11,230世帯、31,398人 ②避難勧告 990世帯、2,775人 (※9月24日16時現在・常総市)
避難所開設等	避難者数 7,032人 (※9月11日7時現在・常総市及び下妻市)

(茨城県災害対策本部 平成28年1月22日16時以前の発表資料より
常総市等、関連を抜粋)



自衛隊員にボートで救出された人たち
毎日新聞社



屋根からヘリコプターで救助される人
毎日新聞社



常総市役所から駐車場を撮影(撮影日:9/11)
周辺は浸水し、防災拠点の市役所も孤立化。
(ヘリ撮影日:11日15時頃)

平成28年8月の一連の台風による北海道・東北地方の被害状況

- 北海道への3つの台風の上陸、東北地方太平洋側からの上陸は、気象庁の統計開始以来初めて。
- 北海道の国管理河川において、4河川で堤防が決壊し5河川で氾濫が発生。道管理河川等においても5河川で堤防が決壊し、73河川で氾濫が発生。また、東北地方の県管理河川においては、12水系20河川で浸水被害が発生。

被害状況

【北海道】

一級水系の支川などの国管理区間において、4河川で堤防が決壊し5河川で氾濫が発生するとともに、道管理河川等においても5河川で堤防が決壊し、73河川で氾濫が発生するなど、死者3名、不明者2名、重軽傷者13名、住家の全壊30棟、半壊・一部損壊1,019棟、床上・床下浸水927棟など甚大な被害が発生した。

【東北地方】

東北地方の県管理河川(岩手県、青森県、宮城県)では、12水系20河川で浸水被害が発生し、岩手県では死者20名、不明者3名、重軽傷者4名、住家の全壊472棟、半壊・一部損壊2,359棟、床上・床下浸水1,466棟など甚大な被害が発生した。

北海道内における主な被害状況

石狩川水系:
 ・22河川(台風第9、11号)
 【浸水面積370ha 床上浸水1戸 床下浸水18戸】
 ・2河川(台風第10号)
 【浸水面積69ha 床上浸水5戸 床下浸水24戸】

石狩川水系空知川(南富良野市)堤防決壊
 ・浸水面積約130ha、浸水家屋183戸
 空知川上流(南富良野町)堤防決壊状況



札内川(帯広市)堤防決壊状況



常呂川水系 堤防決壊
 ・浸水面積約116ha、床上・床下浸水12戸

十勝川水系札内川(帯広市)堤防決壊
 ・浸水約50ha
十勝川水系芽室川 堤防決壊
 ・家屋流出3戸、床上・床下浸水260戸、浸水約441ha

台風経路図

【台風7号経路】

【台風11号経路】

【台風9号経路】

【台風10号経路】



東北地方の県管理河川の主な被害状況

久慈川、川又川、長内川(久慈市)
 ・越水等により、床上浸水850戸、床下浸水150戸の被害あり



浸水した高齢者利用施設の状況(岩手県岩泉町)

小本川、清水川(岩泉町)
 ・溢水・越水・決壊により浸水339ha、床上浸水723戸、床下浸水121戸



久慈市内 被害状況



小本川 被害状況



水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿河市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> 住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> 「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



<洪水を安全に流すためのハード対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



【国土交通省の資料より抜粋】

※ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

住民目線のソフト対策

○水害リスクの高い地域を中心に、スマートフォンを活用したプッシュ型の洪水予報の配信など、住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう住民目線のソフト対策に重点的に取り組む。

リスク情報の周知

○立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
 ⇒平成28年出水期までに水害リスクの高い約70水系、平成29年出水期までに全109水系で公表



○住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 ⇒「水害ハザードマップ検討委員会」にて意見を聴き、平成27年度内を目途に水害ハザードマップの手引きを作成

○不動産関連事業者への説明会の実施
 ⇒水害リスクを認識した不動産売買の普及等による、水害リスクを踏まえた土地利用の促進

事前の行動計画、訓練

○避難に着目したタイムラインの策定
 ○首長も参加するロールプレイング形式の訓練



⇒平成28年出水期までに水害リスクの高い約400市町村平成32年度までに全730市町村で策定

避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供

スマホ等で取得



自分のいる場所の近傍の情報



⇒平成28年夏頃までに洪水に対しリスクが高い区間において水位計やライブカメラを設置
 ・平成28年出水期からスマートフォン等によるプッシュ型の洪水予報等の配信を順次実施

協議会設立の趣旨

平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国、県、市町等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、嶺北ブロック内の県管理河川において、施設では守り切れない大洪水は必ず発生するとの考えに立ち、「水防災意識社会」を再構築することを目的に本協議会を設立します。

嶺北ブロック減災対策協議会の対象河川

本協議会の対象河川：県管理河川(洪水予報河川、水位周知河川を中心)

嶺北ブロックの対象河川

洪水予報河川：3河川

【日野川[※]、足羽川[※]、竹田川】

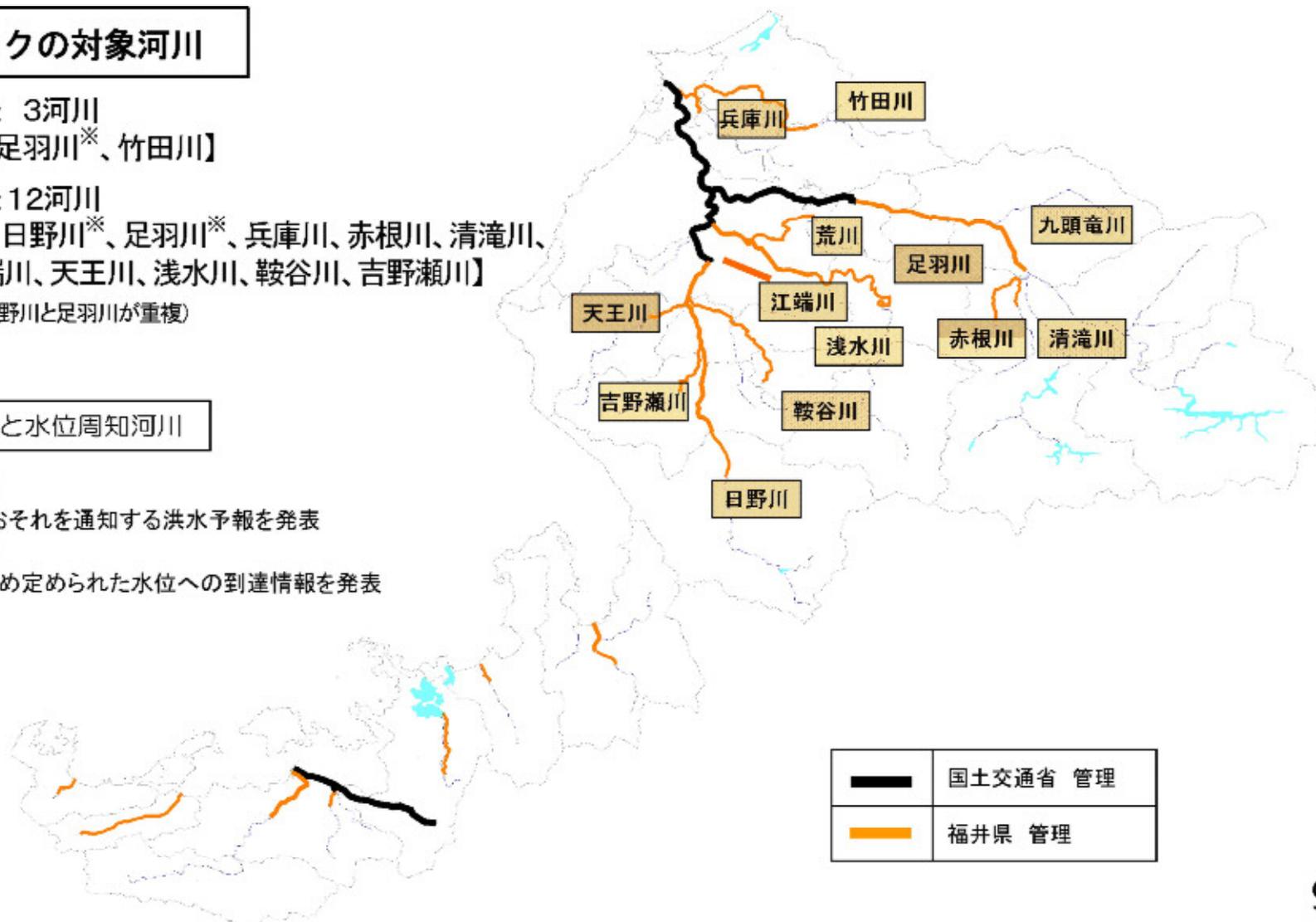
水位周知河川：12河川

【九頭竜川、日野川[※]、足羽川[※]、兵庫川、赤根川、清滝川、
荒川、江端川、天王川、浅水川、鞍谷川、吉野瀬川】

(※ うち、日野川と足羽川が重複)

洪水予報河川と水位周知河川

- 洪水予報河川
⇒ 洪水のおそれを通知する洪水予報を発表
- 水位周知河川
⇒ あらかじめ定められた水位への到達情報を発表



水防災意識社会 再構築に向けた推進体制

福井県管理河川において、水防災意識社会を再構築するため、国、県、市町等の関係機関からなる協議会を設置して、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

【本協議会で実施する事項】

1. 現状の水害リスク情報や取組状況の共有

洪水の浸水想定等の水害リスク情報を共有するとともに、各構成員がそれぞれ又は連携して実施している現状の減災に係る取組状況等について共有する

2. 地域の取組み方針の作成

円滑かつ迅速な避難及び的確な水防活動等を実現するために各構成員それぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた地域の取組方針を作成し、共有する

3. フォローアップ

毎年、協議会を開催するなどして、地域の取組方針に基づく対策の実施状況を確認する